



海の日に

七月二十日は「海の日」という祝日になります。

それは江戸幕府がたおれて天皇親政「ご一新」と世がかわった明治の初期、それでもまだ、ほとんど「天皇」への認識のなかつた東北地方へ、「天皇」の権力をアピールするためにおこなわれた「東北巡航」の旅を終えて、その船が横浜の港に帰ってきたその日を記念して決められた日なのだそうです。

このように、国内外を制覇侵略した人や出来事を中心にした歴史の組み立て方、歴史観を今だに日本人はもつてゐるのかと、韓国や中国、周りの国々から疑われ警戒されているのです。

「海の日」は地球の「顔」です。地球が罹つてゐる病気の症状は「海」に端的にあらわれています。地球の苦悩は海の生き物のうえにモロに現れ始めています。わたしたちの地球の未来を予測するためにはいまの「海」をよくよく観察しなければなりません。

そのための「海の日」であつてほしいと思ひます。

また「海のいのち」を生きた、親鸞さまに学ぶ日にしたいとも思います。

「凡人といわば聖人といわば、倫理的な悪逆、非宗教的な罪業の、千万の川の流れの流れ込む海」その「濁りに濁つた海に生きるさまさまでないきもの」それが、如来回向の一念の信心によって「煩惱を断ぜずして涅槃を得る」

「阿弥陀如来の大いなる暁の光」を仰ぐとき、煩惱罪業の海転じて歡喜讃仰よろこびに包まれ感謝に輝く海に変えられていく、そういうふん「海の日」にしたいと思います。

東井義雄先生がいつもいつも聞かせて下さったお正信偈のことばを、先生のおもかげと一緒に思い出させていただきました。

凡聖逆説 ひとしく 回入(えきとう)すれば
衆水 海に入つて一味なるがごとし

「わたしは死ぬる身を生きているのではない。みほとけに生まれる『いのち』を今生きる。『いのち』だから、何があつても泣かないでね」

平成十二年九月二十一日、二十五歳の若さで亡くなった鹿児島法円寺の藤原千鶴子さんが、末期癌の病床の中から家族にのこした言葉です。

大学卒業後、鹿児島の県立高校の英語の先生をしていましたが、十二年二月突然、すでに千鶴子さんは如来様を見ていたのでしょうか。「お父さんが、お寺さんでほんとによかった。お寺さんのお父様と一緒にじゃーなつたらわたしとてもこの病気に耐えられなかつたわ」

法円寺の境内に、千鶴子さんの言葉を刻んだ碑が建てられました。

(『本願寺新報』記事より抄出)

全孟蘭盆会法要追悼要

八月八日 午後1時受付

献花 献灯

戦没者呼名

焼香

正信偈

ご法話

農村出身兵士が戦死した日は、ある一定の日に集中している。昔の祝日。指揮官はこの祝日に勲功をあげると金鵄勲章がもらえた。そのため無理をして部下を督励し結果多くの兵士を戦死に追いやつた。

なんの報いられる事なく、今なお満蒙の広野に屍をさらしている開拓団の人々。

これらの悲惨な事実を歴史のかなたに風化させていいものだろうか。

深く深く追悼したい。



八月のことよみ

二日 SSS (AM)
三日 DS
四日 中島登美男氏宅忌明法事

田中嘉信氏宅初盆
福富修氏宅初盆

六日 宮嶋千秋氏宅墓地移転法事
七日 正法寺追悼法要 (PM2)

八日 人王戦没者追悼千孟蘭
九日 分皿会法要
十日 友遊クラブ

S S
秋吉敏子コンサート
坂本晃氏宅初盆

D S S S
横山広義氏宅初盆・法事

十一日 坂本晃氏宅初盆

十二日 横山広義氏宅初盆・法事

十三日 出石町内お盆まいり

十四日 斎藤栄氏宅法事
十五日 奥地余男氏宅法事

十六日 内町区納涼大会

十七日 D S
十八日 S S
十九日 幼稚園作業

二〇日 こども研修会

二一 日 D S
二二 日 ボランティア連絡会

二三 日 友遊くらぶ

二四 日 地蔵盆

二五 日 湯口久雄忌明法事

二六 日 兵庫教区如組巡回

二七 日 みのりを聞く会定例法座

二八 日 D S S S
二九 日 寺報編集

三〇 日 D S S S
三一 日 川原町

七月十一日 葬儀
七十六歳



童謡

介護老人

今日、わたしらの行っているボランティア。センターで、みんなでほんとうに久しぶりに、こんな大声あげて、昔の子どものうた「童謡」を歌いました。

ボランティアの男の先生が、わざわざわた

目のわるい年寄りにも読めるように大きな字で印刷してくれたものを見ながら歌いました。みんなで大きな声出して歌っている間に、だんだん盛り上がって、なかには、興奮のあまり泣き出したり、また、演説をはじめの人もあつたぐらいでした。

やつぱり昔のうたはいいなー。だれもがそう思っているようでした。

「てるてる坊主」のうたがありました。こどものころ、遠足やお祭りの前の晩、てるてる坊主つくってうたった歌でした。

てるてる坊主 あした天気にしておくれ いつかの夢の空のように は

「こんなの歌ってたかなー。わしゃーおぼ

えんでー。」もと軍人のおじいさんがカンカンに怒りだしました。「こんな得手勝手なことあれへん。自分の都合のええことお祈りし

といで、そのとおり聞いてもらへんと首をチヨンと切つてしまふなんて。ゆるされんでしょうが」

そしたら昔先生だったおばあちゃん、「それでもそれで戦争して支那や朝鮮の首チヨンと切つてしまふんだしょ」といつたら、おじいちゃん黙ってしまいました。



数珠もつ背なし 一とけなき

淡路組 坂本 旭

兵庫教正門徒推進員連絡協議会

「スズメ」というこれも古いうたです。

(雀) 今日もまた 暗い道をただひとり

林の奥の竹やぶの さみしいおうちへ帰るのか。いいえみなさん あそこにはとおさ

まつていて 楽しいおうちがありま

ます さよならみなさんチュッチュッチュ

クチュ

大正のはじめにうまれたというおばあちゃん。オンオンなきだして言うには、「わしの

生まれた家の回りは竹やぶで、夕方、すすめ

と一緒に おうちに帰りましたんや。今まで

もようそのころの夢みますんや。どうちゃん

かあちゃんの夢もようみますんや。そのころ

の通りですやないか。わしらも死んだら竹や

ぶとおつてすすめと一緒におうちに帰れます

のやない。とおちゃんかあちゃん待つてます

んやもん

そしたら、みんなうんうんみんなうなずい

て、それからまたこのうたみんなで歌います

た。

ゲームの時間が終わつたあと、「きょうは

よかつたねー。だれも、はよ帰らせてとウ

ロウロセーへんやつたなー」といいました。

お盆とは……

お盆は一般に「亡くなつた人が帰つてくる」時期と考えられています。俗に、地獄の釜の蓋が開くとも言われ、その隙?にご祖先が戻つ

(安居)の期間を終えてその終業式の日を迎える。自分の積んだ学問や修行を改めて反省する(自恣の日)です。その僧侶たちを心からもてなすなかで、あなたも一緒に自分の人生を反省してみなさい」とおっしゃいました。その通りになると、母は救われ、目蓮の苦悩も除かれたということです。

この日がお盆のはじまりです。

お盆

は「ウランバナ」というふるい印

度のことば(サンスクリット)の音を写した「盂蘭盆」の略です。訳すと「倒懸」一逆さまに吊るされるほどの苦しみ、と言う意味になります。

お盆

お盆迦さまのお弟子で、神通力が一番と言われた目蓮(もくれん)という方がいました。その方は母が亡くなつたので、神通力を使い、天界に会いに行きました。ところが母の姿は、そこではなく、なんと飢えに苦しむ「餓鬼」の世界にありました。目蓮の母は、生前、人や自分を犠牲にしてまでも、わが子だけに愛情を注いだに違いありません。わが子可愛しさのあまり、迷い・罪を作り、その報いで自身は飢えの世界に墮ちたのです。

飢えにもがく母、それを見た目蓮。どちらも逆さまに吊るされるほどの苦しみです。どうにかしたい一心で、お盆迦様に相談すると、お盆迦さまは、「僧侶たちが長い勉学修行

お盆

お盆迦さまは、私のために尽くした母や祖先のおかけである、と「わたしのいのちの根源」を味わう機縁と致しましよう。また、お念仏(如来さまのお呼び声)のなかでこそ、いつもどこでも母子が相い合うことができ、共に救われて行く世界があることを確認したいと思います。「お盆」をそういう思いで過ごさせていただきましょう。

お盆

こども研修会

九時半(受付)～十七時(解散)

八月十九日(日)

「にょらいあま」のおはなし

らいはいのお作法

おみのりのうた

ビデオ上映

おつとめ練習

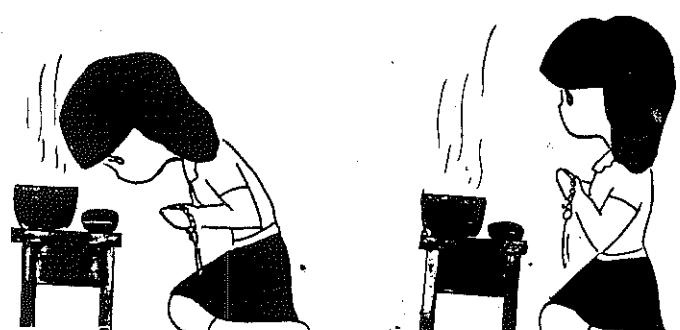
工作手芸

など

仏婦評議員さまを通して十五日までに申しこんで下さい。

参加費 一人 500円

◎おかあさまがたも、参加して共に学んで



(『本願寺新報』お盆特集号)